

## 大阪工場(研究所含む)



環境管理責任者：福森 章夫

■所在地：大阪市鶴見区鶴見1丁目1-9 ■設立：1936年11月  
 ■敷地面積：33,590m<sup>2</sup> ■従業員：322名、協力会社員21名

環境管理システムは研究所を含む大阪事業所として取り組み、省エネルギーやCO<sub>2</sub>、廃棄物削減に加えて、環境にやさしい製品の開発などの環境負荷低減活動をおこなっています。

2010年度は活動目標の項目をすべてクリアすることができ、特に新製品の開発において挙げた環境配慮型の3テーマは実用化され目標を上回る成果が得られています。当工場は住宅地が隣接する都市型工場であり、最新の脱臭装置の導入や工事中の防音対策等により臭気や騒音の抑制に努め、安心と信頼を提供する地域共創工場を目指していきます。

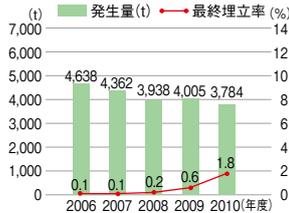
### ●工場トレンド



### ■エネルギー使用量



### ■廃棄物発生量



### ●環境パフォーマンス

インプット		
水資源	水道水 (千m <sup>3</sup> )	29.1
	工業用水 (千m <sup>3</sup> )	119.3
	地下水 (千m <sup>3</sup> )	0.0
原材料 (千t)	18.0	
アウトプット		
大気への環境負荷	NOx (t)	0.4
	SOx (t)	0.2
	PRTR物質 (t)	0.2
水域への環境負荷	COD (t)	4.1
	SS (t)	3.2
	排水 (千m <sup>3</sup> )	90.6
PRTR物質 (t)	0.0	
製品 (千t)	33.5	

### 身近な生物多様性

2010年度に場内緑地を整備し面積を469m<sup>2</sup>増加しました。緑地には地域にふさわしい種(例:大阪市鶴見区の花“つばき、はなみずき”など)を配慮した植生を進め、今後も緑豊かな工場を目指します。



増設した緑地

## 富士工場



環境管理責任者：藤原 勝博

■所在地：静岡県富士市厚原366-1 ■設立：1959年12月  
 ■敷地面積：39,040m<sup>2</sup> ■従業員：85名、協力会社員18名

2010年度は環境省の「自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)第6期」に参加し、ボイラー燃料をLPGから都市ガスに全面転換した上で、高効率小型貫流ボイラーへ全面更新しました。また、事務棟の風呂用給湯設備を蒸気加熱方式から電気ヒートポンプ方式へ更新しました。これら一連の設備改善で960t・CO<sub>2</sub>/年を削減することができました。引き続き、省エネルギー、環境負荷の低減、産業廃棄物の削減を継続的に実施し、また、安全・防災に関する活動をより活性化させ、地域社会から信頼される工場を目指します。

### ●工場トレンド



### ■エネルギー使用量



### ■廃棄物発生量



### ●環境パフォーマンス

インプット		
水資源	水道水 (千m <sup>3</sup> )	26.1
	工業用水 (千m <sup>3</sup> )	120.2
	地下水 (千m <sup>3</sup> )	375.7
原材料 (千t)	41.1	
アウトプット		
大気への環境負荷	NOx (t)	8.8
	SOx (t)	1.2
	PRTR物質 (t)	5.4
水域への環境負荷	COD (t)	9.2
	SS (t)	2.8
	排水 (千m <sup>3</sup> )	238.9
PRTR物質 (t)	0.0	
製品 (千t)	86.0	

### 身近な生物多様性

富士工場各所には、富士市民の木でもある「くすのき」があります。現在は場内工事により枝を切っている状態ですが、今後、場内へ植樹する際には、地域の生物多様性を考慮していきます。



富士市民の木「くすのき」